

管内証券会社(22社)の平成25年9月期決算の概要【速報集計値】

【損益の状況】

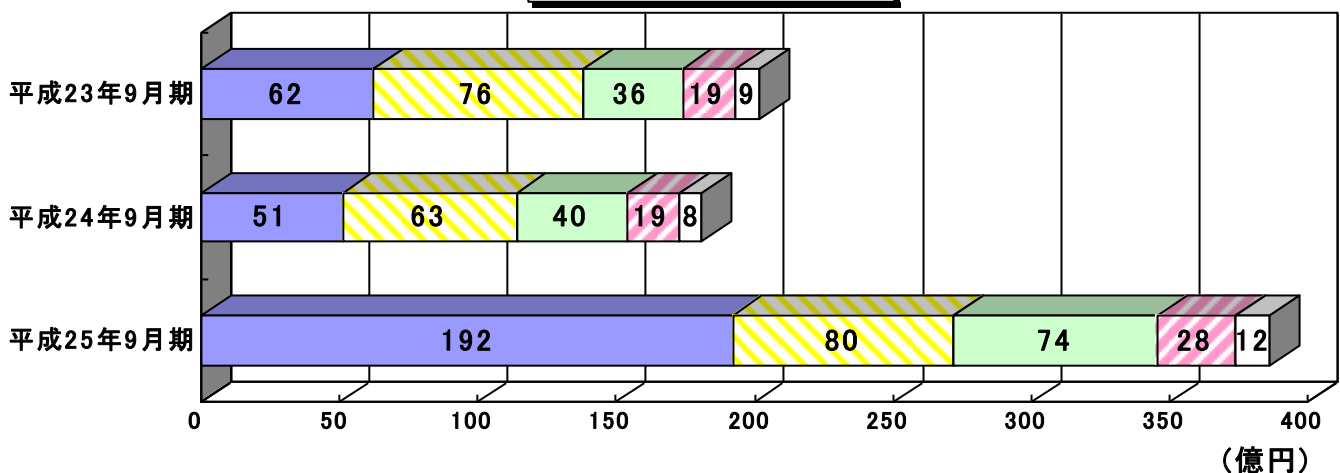
- 営業収益は、市況回復を受けて、株券委託手数料を中心に受入手数料が大幅に増加したことに加え、証券会社の自己売買によって生じるトレーディング損益が増加したこと等から、前年と比べて205億円の増加となった(前年同期比111.7%)。
- 販売費・一般管理費は、業績に連動した人件費の増加等により、48億円の増加となった(前年同期比22.6%)。
- この結果、経常損益は、前年同期に比べ156億円増加の126億円(黒転)。当期純損益は、前年同期に比べ144億円増加の151億円の黒字となった(前年同期比2,042.5%)。
- 管内証券会社(22社)の黒字会社は、前年同期の7社から20社へ増加した。

(単位：億円)

	23年9月期	24年9月期	25年9月期	前年同期比	増減率
営業収益	204	184	389	205	111.7%
受入手数料	147	122	285	162	132.4%
うち株券委託手数料	62	51	192	141	272.8%
うち受益証券関連手数料	76	63	80	17	28.3%
トレーディング損益	36	40	74	33	83.5%
うち株券等トレーディング損益	9	7	33	25	349.9%
うち債券等トレーディング損益	25	31	40	9	28.7%
金融収益	19	19	28	8	44.8%
販売費・一般管理費(▲)	253	214	262	48	22.6%
営業損益	▲54	▲34	120	154	-
経常損益	▲48	▲29	126	156	-
当期純損益	▲76	7	151	144	2,042.5%

※ 期毎に社数の変動があるため、平成25年9月期の22社ベースで3カ年分を集計しています。その結果、これまでに当局が公表した平成23年9月期及び平成24年9月期の各計数とは異なります。

営業収益内訳金額の推移



■ 株券委託手数料 ■ 受益証券関連手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他

管内証券会社の平成25年9月期 決算の概要 (参考資料)

平成25年12月20日
近畿財務局



はじめに

➤近畿財務局管内に本店を置く証券会社(22社)の平成25年9月期決算について、とりまとめを行いましたので公表します。

管内の証券会社(各府県別、金融商品取引業登録番号順)

【大阪府内】

永和証券、エース証券、岡安証券、プレジアン証券、光世証券、岩井コスモ証券、高木証券、内藤証券、日の出証券、ひびき証券、廣田証券、池田泉州TT証券

【京都府内】

西村証券、丸近証券、都証券、六和証券

【兵庫県内】

相生証券、篠山証券、西脇証券、播陽証券、光証券

【奈良県内】

奈良証券

※各計数は、当局調査に基づく暫定の計数(単体ベース)を集計したものであり、今後変動する可能性があります。

なお、期毎に社数の変動があるため、平成25年9月期の22社ベースで3ヵ年分を集計しています。その結果、これまでに当局が公表した平成23年9月期及び平成24年9月期の各計数とは異なります。

※岩井コスモ証券は、平成24年5月に岩井証券とコスモ証券が合併して誕生したものであり、合併以前の数値については、2社の合算値としております。

※億円未満を切捨てて表示しておりますので、計数は必ずしも一致しません。

※「全国」の計数は、全国の証券会社のうち金融庁長官の指定する証券会社(大手・外国証券等)以外の証券会社の集計値です。

(営業収益の項目説明)

※株券委託手数料:株券の委託売買に係る手数料

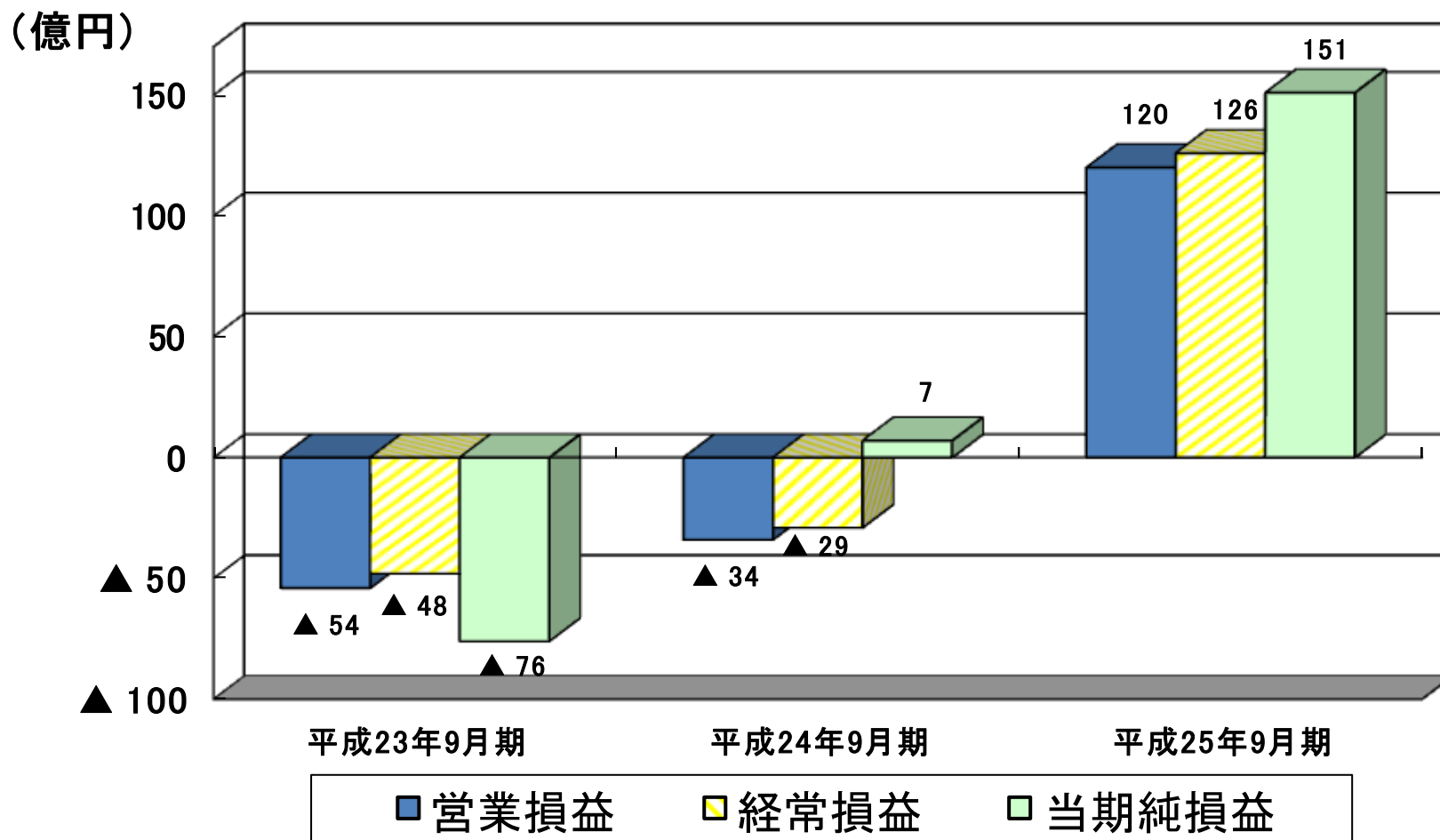
※受益証券関連手数料:投資信託の募集等に係る取扱手数料及び信託報酬

※トレーディング損益:自己の計算により売買した有価証券等の取引損益

※金融収益:信用取引収益(自己融資の受取利息及び品貸料)、受取配当金・受取債券利子等

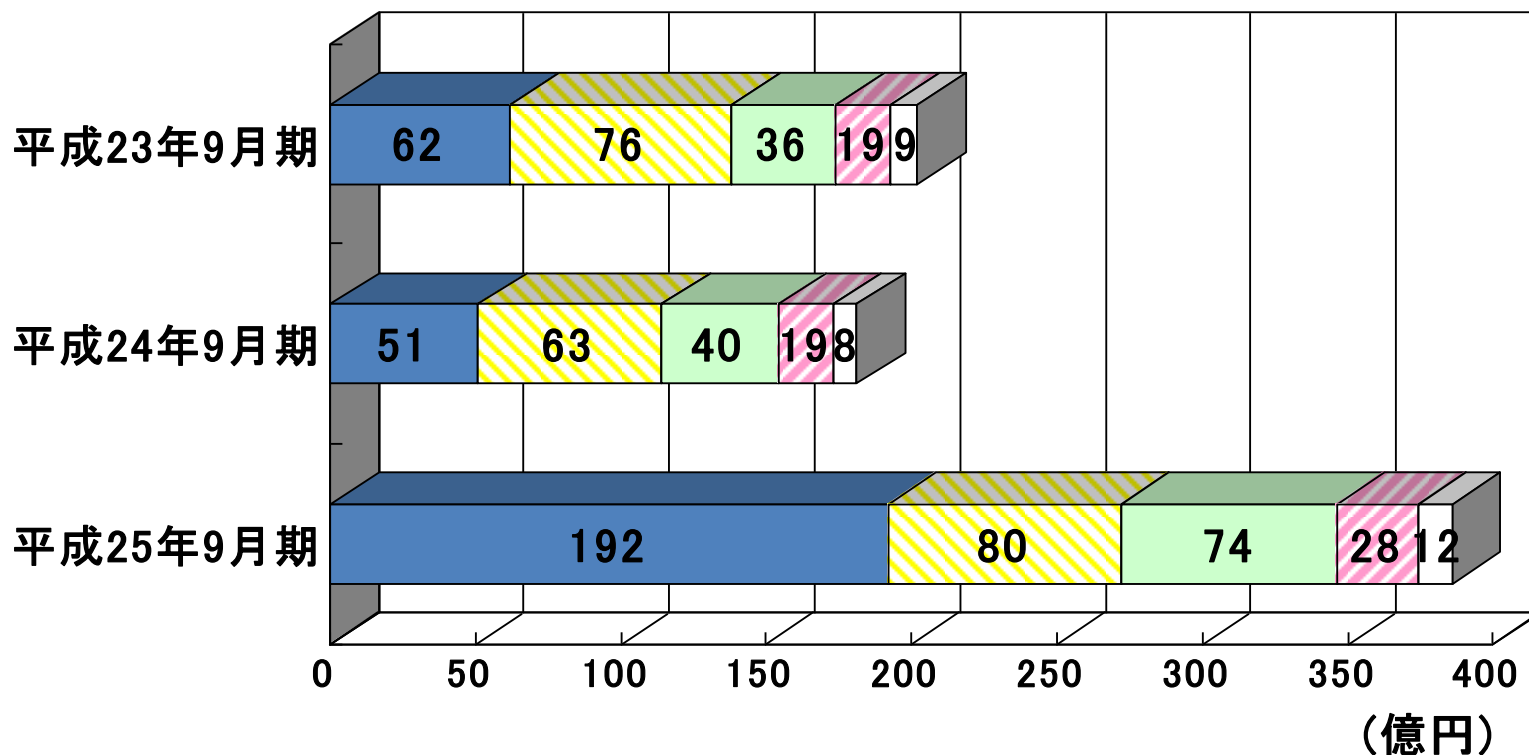


営業損益、経常損益及び当期純損益の状況



営業収益の状況

営業収益内訳金額の推移

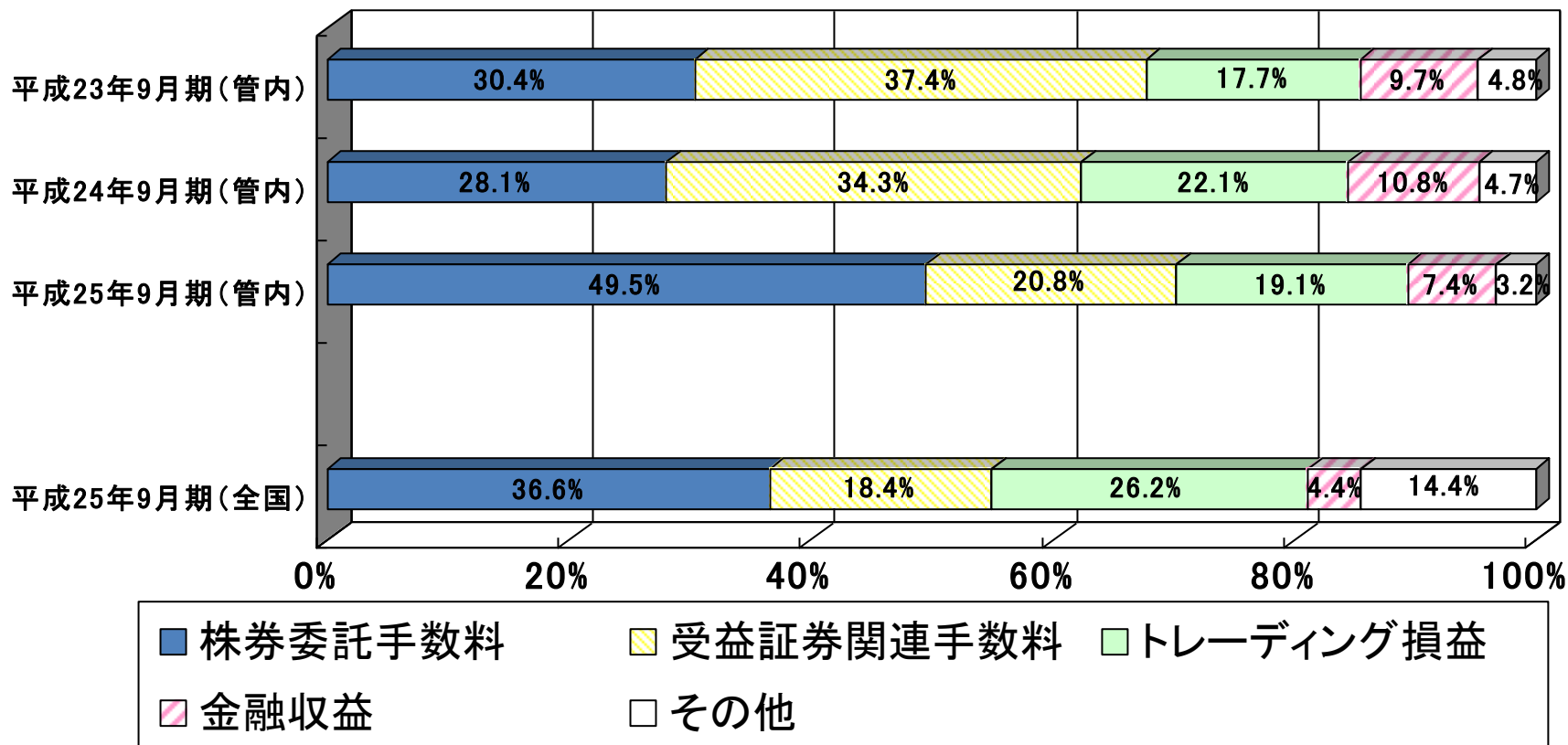


■ 株券委託手数料 ■ 受益証券関連手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



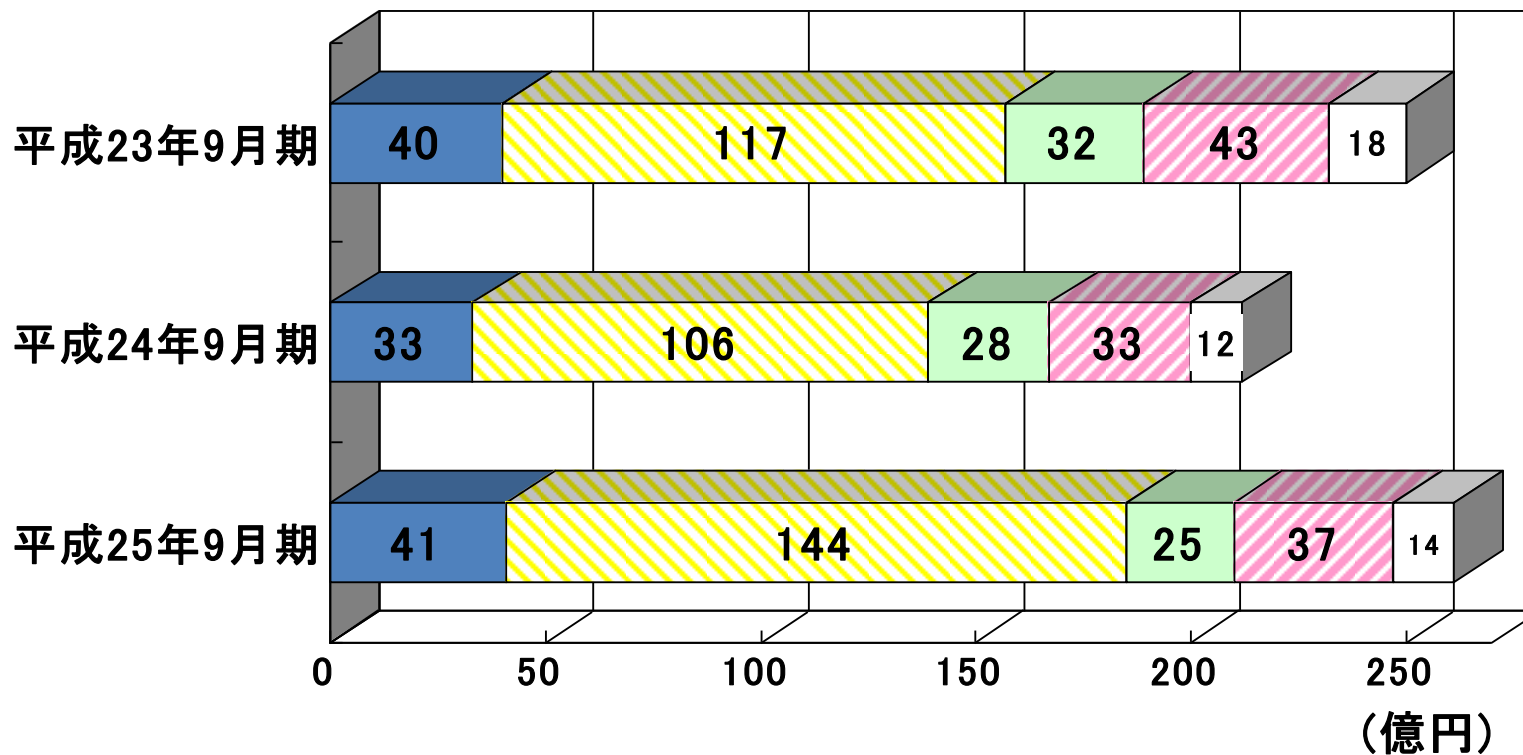
営業収益の構成状況

営業収益の構成割合の推移



販売費及び一般管理費の状況

販売費及び一般管理費内訳金額の推移



■ 取引関係費 ■ 人件費 ■ 不動産関係費 ■ 事務費 □ その他

